

令和4年12月16日
道路局企画課

第36回日中道路交流会議を開催しました（報告）

～道路分野における日本・中国両国の技術交流～

国土交通省は、中華人民共和国交通運輸部と、12月15日に、オンラインにて「第36回日中道路交流会議」を開催しました。

本会議では、道路のデジタル化の発展について、両国の知見を共有するとともに、引き続き、技術交流を継続していくことを確認しました。

本会議は、1984年（昭和59年）に日中間において、道路に関する技術交流を目的に「日中道路交流会議」を開催することに合意して以降、30年以上に渡り開催しております。

12月15日に開催した第36回日中道路交流会議の結果概要は次のとおりです。

《第36回日中道路交流会議》

（1）開催日：令和4年12月15日（木）

（2）出席者：

〔日本側〕国土交通省 大臣官房審議官（道路局担当） 久保田 誉
道路局企画課国際室 室長 福井 貴規 ほか

〔中国側〕中華人民共和国交通運輸部 公路局 局長 吳 春耕
公路局 副局長 王 太 ほか



国土交通省 久保田審議官による開会挨拶



交通運輸部 吳局長による開会挨拶

【問い合わせ先】

国土交通省 道路局 企画課 国際室 北澗（きたま）、西川

電話 03-5253-8111（内線：37542）

夜間直通 03-5253-8906 F A X 03-5253-1618

(別紙) 結果概要

会議では、共通テーマである道路のデジタル化の発展について発表があり、活発に意見交換が行われました。

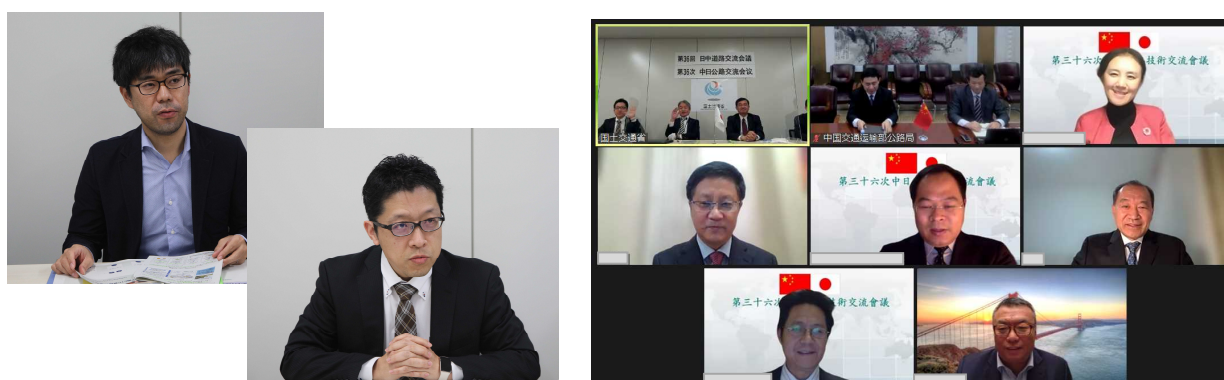
【日本側発表】

- ・ 次世代ITSに関する検討について、自動運転の技術開発支援のための官民連携の取組、自動運転の適用範囲の拡大に向けた道路側からの支援、ETC2.0により収集したプローブデータの活用等国土交通省の取組の最新の動向、及び次世代ITSに係る将来的なサービスイメージを紹介しました。
- ・ 道路管理のデジタル化について、予防保全の考え方を示しつつ、橋梁・トンネル等道路施設点検への新技術の活用、道路施設点検データベースの構築、ICTを活用した舗装工事の試行や除雪作業の自動化に向けた取組等、日本の事例を紹介しました。

【中国側発表】

- ・ 中国のETC技術について、現在のETC導入状況とその効果、ETC運営システムの概要、交通状況を把握する取組、今後のETCの発展的な活用イメージの紹介がありました。
- ・ 中国における自動運転の進展について、自動運転車両の開発状況と法制度の整備状況、自動運転バス・タクシーサービス等の導入に向けた取組状況、自動運転の実現にむけた路車間通信技術の活用に関する取組の紹介がありました。
- ・ 中国の道路沿線における充電インフラについて、充電器の設置状況、設置と運用に関する現在の課題、将来目標や新しい技術の活用など方針の紹介がありました。

会議を通じて、両国の道路分野の知見を共有するとともに、引き続き道路分野における協力関係を継続していくことを確認しました。国土交通省は、会議で得られた知見を国内の道路行政に活用するとともに、今後とも日中両国の道路に関する技術交流を実施して参ります。



会議の様子